



今月の研究成果トピックス (アグリサーチャーHPより)

アクセスの
多い研究成果を
ご紹介

高温期ホウレンソウの収穫前遮光除去・晴天日遭遇後 収穫による品質向上技術



高温期のホウレンソウ栽培では、生育を確保するために遮光が行われますが、葉の色が薄くなり、ビタミンCが減少するなどの品質低下の問題が生じてしまいます。収穫前に遮光資材を除去し、天候を考慮して収穫するという栽培方法により、生育と品質の両方を確保できます。

研究機関: 農研機構西日本農業研究センター

研究者: 吉田祐子(現: 野菜花き研究部門) 他4名



研究成果

研究者の声 吉田祐子さん

研究成果を踏まえ、高温期ホウレンソウの新たな栽培方法として、
①栽培期間中に遮光資材を除去すること、②トンネル型遮光により遮光資材の着脱を容易にすることを提案し、マニュアルを作成しました。本マニュアルは多くの方から反響があり、嬉しく思っています。



マニュアル

研究者情報



■ この技術を導入している 農業者 (京都府京丹波町) の声

収穫前に日光を当てることで、植物が丈夫になり、出荷調整時に葉が折れにくくなりました。また、葉の色も濃くなり、見た目も良くなりました。本マニュアルに記載されている遮光資材をトンネル状に設置する方法は、着脱が容易で利便性が良いため、今後も利用を続けたいです。

■ Webアクセス情報 (2018年12月)

訪問者数: 8, 523名 (累計: 171, 148名)

■ イベント情報

- ・ 露地野菜公開シンポジウム
「露地野菜生産現場の現状整理と今後の展開」
2月4日(月) 東京都千代田区
- ・ 人工知能未来農業創造プロジェクト
公開シンポジウム
2月12日(火) 東京都千代田区
- ・ 農業食料工学会 農業機械部会セミナー
3月1日(火) 埼玉県さいたま市

このほかの情報はこちら



スマートフォンからより手軽に研究成果・研究者を検索！



アグリサーチャーにロボットとの対話型 検索システム（チャットボット）を試験導入します

「アグリサーチャー」は、平成29年4月より稼働し、これまで農業者等から毎月7千件以上のアクセスをいただいています。より一層の利便性の向上と利用拡大に向けて、1月17日よりロボットとの対話型検索システム（チャットボット）を試験導入します。

※試験導入は、入札公告の結果、(株)ベーシック(東京都新宿区)がLINEを活用して実施します。また、4月からの本格運用に向け、その効果を検証します。

※「チャットボット(Chatbot)」とは、チャット(会話)とボット(ロボット)を組み合わせた言葉で、人工知能を活用した「自動会話プログラム」のことです。

アグリサーチャー・チャットボットの使い方

1 LINEから「アグリサーチャー」を登録します。



2 「検索」ボタンから、研究成果・研究者情報を検索します。

検索時間がHP版から半減



メニューから「検索する」を選択します。



フリーワードを入力するかカテゴリを選択します。



該当する情報を表示します。更に絞り込むこともできます。

3 「会話」ボタンから、ロボットと会話し、研究・行政情報を知ることができます。

4 「各種リンク」「ランキング」ボタンから、直近のイベント等がわかります。

5 「ご意見」ボタンから、ご意見・ご要望を伺います。